

山田昌弘『新平等社会』 「はじめに」

要点のまとめ

格差問題

- 議論されてはいるが理解は深まっていない
- なぜか？

その理由

1. 格差の議論が、政治問題(＝経済改革の是非)に移し替えられている
2. 「現在の収入格差」にのみ焦点が当てられている

山田の見解

- 経済改革は必要だが、その結果生じた格差拡大にも対処する必要がある
- 現在の収入格差のように、数字に表れる差は見えやすく、データも出しやすい

だが、数字では示しにくい問題がある
たとえば・・・

- 将来にわたる賃金格差
- 格差の世代間継承による固定化の問題
- 今後中流生活が維持できるかといった「不安」
- 教育における意欲格差
- 「希望格差」といった感情に関わる問題

- 数字だけしか見ないと構造的な変化を見逃す
社会政策的に有用な議論とはならない
- 社会政策は不確実な将来に向けてなされるべきもの
経済だけでなく、家族、教育、人々の意識までカバーする必要がある